

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	65	事業名	子育て支援センター運営事業	担当部課	福祉部子育て支援課
------	----	-----	---------------	------	-----------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	9	安心して子育てができる環境をつくる	款	3	民生費
		施策の進め方	2	子育て支援の充実	項	2	児童福祉費
	まちづくり 行程表	フラッグ	-		目	1	児童福祉総務費
		政策分類	-		大事業	8	子育て支援センター 運営事業
	その他(関係法令、要綱等)	子ども・子育て支援法					
事業開始の背景、経緯等	平成20年度から、次世代育成支援法(当時)に基づき、子育て親子の交流の場の提供、子育て等に関する相談・援助を行うものとして開始した事業。						

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 子育て親子の交流の場の提供、子育て等に関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育てに関する講習会等の実施。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内の子ども及び子育て中の保護者					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 子育て環境の孤立化を防ぎ、虐待のない健やかな環境で子育てができること。					
	事業を構成する事務事業	①	子育て支援センター運営事業	改善・見直し	④		
		②			⑤		
		③			⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	決算	予算		2,883	3,001	2,555
決算					3,113	3,384	2,662	
人件費(B)	千円	決算		3,112	4,294	5,450		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		6,225	7,678	8,112		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A 市内の子ども及び子育て中の保護者の来館者数	人	目標	23,000	23,000	24,960	24,960	24,960
			実績	22,062	20,259	24,673	20,065	
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 前年度実施からの増加（平成28年度からは、子ども・子育て支援事業計画の数値に変更）								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣の実施市町：瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 目標達成はできていないが、来館者数に対して定員超過を理由に制限を行ったことはなく、全ての来館者の受け入れはできている。なお、来館者が平成28年度に比べて減少しているのは、各種講座について児童館で実施する等、アウトリーチを進めているためである。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 今後も、子育て支援センター運営事業に対する一定のニーズは継続していくものと考えられるため、引き続き事業の拡充に努める。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 今後も引き続き、利用者が参加しやすい環境づくりに努めていくとともに、利用者ニーズに合ったプログラムの改善等に取り組んでいく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 本市では引き続き児童数が増加傾向にあることから、こうした状況に対応できる体制を構築していきたい。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		子育て支援センター運営事業									
番号	①	事務事業名	子育て支援センター運営事業	款	3	項	2	目	1	大事業	8	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成20年度		終了（予定）年度		-						

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	市内の子育て中の親子に対し、子育て支援センターを運営することで、子育て親子の交流の場の提供と交流の促進を図る。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	子育て中の保護者を安心して子育てができるようにする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		948	3,001	2,555	3,071
		決算		1,185	3,384	2,662	
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 一般事務嘱託員報酬						2,007	千円
② 育児講座講師謝礼						85	千円
③ 消耗品費						278	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
来館者数	人	目標	23,000	23,000	24,960	24,960	24,960
		実績	22,062	20,259	24,673	20,065	
		目標					
		実績					
<備考：活動の概要（当該事業年度）>							
<ul style="list-style-type: none"> 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進に関する事務 子育て等に関する相談、援助の実施に関する事務 地域の子育て関連情報の提供に関する事務 子育て及び子育て支援に関する講習会等の実施に関する事務 → リズム遊びや育児講座等を合計で38回実施							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

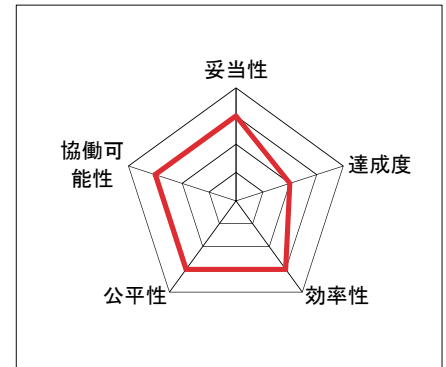
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
子育て支援ニーズに対する身近な地域での支援体制の構築が必要となっている。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
引き続き、地域に向かいの事業実施を意識していくとともに、施設内で実施している事業についても、より魅力的なプログラムとなるよう改善を図り、利用者ニーズに沿った内容としていく。
(何をどのような状態に改善したのか)
利用者アンケートにより判明した「同年齢の子を持つ親との仲間づくりの場」及び「交流の場」が欲しいとの利用者ニーズに即し、講習会の内容を見直した。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
利用者ニーズを捉え、事業内容について質の向上を図ることができている。

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
施設規模、人員配置上、事業規模としては現状維持となるため、継続した内容の精査等が求められている。

7. 今後の方向性

改善・見直し

<コメント>
(改善の方法、今後の具体的展開など)
講習会の見直しを継続していくとともに、ファミリーサポートセンター運営事業における会員同士の交流の場の提供の取組とも連携を図ることで、地域の子育て環境の向上に取り組んでいく。
(※ 平成29年度の来館者数の減少は、地域での事業実施に伴うもの)